

平成30年9月28日撮影

# 防災特集 記憶を風化させないで

令和3年8月11日撮影

問合せ 災害復興支援課（☎372-3311・内線3362）

あれから3年

平成30年9月6日、最大震度7の「平成30年北海道胆振東部地震」が発生しました。

北広島市では震度5弱を記録し、市内の人的被害は重傷者が1人、住家被害は全壊が17棟、大規模半壊・半壊が20棟、一部損壊は1078棟でした。

市内5カ所に開設した指定避難所には、のべ1674人が避難。ライフラインの復旧や仮設住宅への転居を経て11月6日に大曲会館の避難所を閉鎖し、全ての避難所が閉鎖になりました。

## 復旧・復興に向けて

当時、大きな被害を受けたのが大曲並木3丁目地区です。7月から続いた雨の影響で地下水位が上昇したところに地震が重なり、のり面や擁壁の崩落・変形などの被害が発生しました。地区の一部では家屋の損壊や宅地の崩落など甚大な被害が見られ、21棟の家屋が解体されました。地震発生直後に被害状況などの調査を開始し、平成31年4月、復旧・復興や再度の災害防止を目的とした宅地耐震化推進事業に着手しました。被害の状況に応じて地区を3つの工事状況



Aエリア



Bエリア

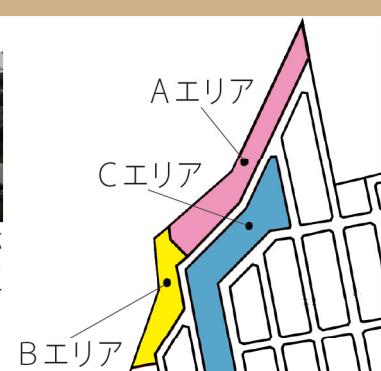


Cエリア

既存の擁壁を特殊な工法で補強し、一部区間は盛土で押さえる。令和4年1月に完了予定

崩壊した宅地の土砂やがれきなどを撤去し、盛土で押さえる。令和4年1月に完了予定

隣接する住宅に影響が出ないよう、特殊な工法で既存の擁壁を補強。令和3年1月に完了



\*被害の原因の一つである、地下水位を低下させる作業は令和4年1月に完了する予定です。

## 状況に応じた避難行動をとるために

法律が改正され、5月20日から避難情報が変更になりました。

改正前	改正後
避難準備・高齢者等避難開始	高齢者等避難
避難勧告	廃止
避難指示(緊急)	避難指示

### ●高齢者等避難

危険な場所から高齢者は避難

### ●避難指示

危険な場所から全員避難

\*指定避難所の一覧は、本紙16ページをご覧ください。

## 出前講座で防災を学びませんか

市内にお住まいが通勤・通学している5人以上の団体などが対象です。知りたいこと・体験したいことに沿った内容を用意します。

詳しくは、危機管理課（内線3344）に問い合わせてください。

### 内容の一例

- 一般的な防災についての講座
- 非常用備蓄品の組み立て
- D〇はぐ（避難所運営ゲーム北海道版）
- 防災DVDの視聴など

## 自己ごととして考えて

地震発生後、防災教室を開催してほしいとの要望が学校や福祉施設を中心に増えました。備蓄品の組み立てやD〇はぐでの話し合いの様子から、参加者の皆さんのが万が一のことを自己ごととして真剣に考えていることが伝わってきます。

コロナ下で災害が発生した場合は、限られた指定避難所・職員での対応となり密になる可能性があります。親戚宅や車中・テントでの避難についても検討してください。

食料や日用品などの備えを行うと共に、日頃から防災に関心を持ってほしいです。

危機管理課 荒川亨



リアに分けて、宅地の崩落を防止するための工事を進めています。それぞのエリアの復旧について信頼性の高い工法を選ぶことはもちろん、将来の宅地利用や住民の生活への影響にも配慮しました。

## 宅地以外の復興も推進

復旧作業を行っているのは、3つのエリアだけではありません。札幌市との間に流れる大曲川は、崩壊した擁壁や宅地の土砂などが流れ、札幌市側へ大きく押し出されましたが。土砂などを取り除く工事を行い、3月に完了しました。

地域住民の憩いの場として利用されていていた、みどりの里住民集会所も

将来的宅地利用や住民の生活への影響にも配慮しました。

## 地域をつなぎ、未来に伝える

復興に向かって活動しているのは行政だけではありません。令和元年10月に発足した「北広島市大曲並木3丁目災害復興委員会」は、地盤被害が大きかった、みどりの里町内会区域に住む有志による団体です。地域が一丸となって復興に向かうこと、被災による転居などで地域を離れた方と並木地区をつなぐことを目的に設立されました。

被災により使用できなくなりました。令和2年1月に仮設の集会所が完成し、使用されています。現在は集会所を新築するため準備を進めています。

会を実施したほか、令和3年2月6日には地区をスノーキャンドルで照らすイベントを開催しました。

対外的な活動としては、ホームページなどで情報発信を実施。当時の出来事を風化させないため、体験談や工事の進捗状況などを丁寧に記録しています。

会長の竹内明広さん、妻の友香さんは「災害は本当に起きるのだということ、復興には時間がかかることがあります。9月6日という日を忘れないために、今後もイベ

ントなどを企画していきたいです」と話してくれました。

## 教訓を生かして

相談・対応を継続しながら、大曲並木3丁目地区の復旧工事は令和3年度中の完了を目指して実施しています。街並みは変化しますが、当

年の記憶を風化させず、いつ起てるかわからない災害に備えて震災の教訓を未来につなぐことが重要です。

地震発生から間もなく3年。「備蓄を見直そう」「指定避難所を確認しよう」など、あの時思ったことを忘れていませんか。改めて当時のことを振り返り、もしもの時に備えましょう。